

公立高教組が本県の大学進学率が低いということで、若干のデータをさぐったものです。
コメントの一部は割愛しました。 (編集部)

新潟県の高校教育にかかわる若干のデータ

新潟県公立高等学校教職員組合定数教財委員会
(1995年8月作成)

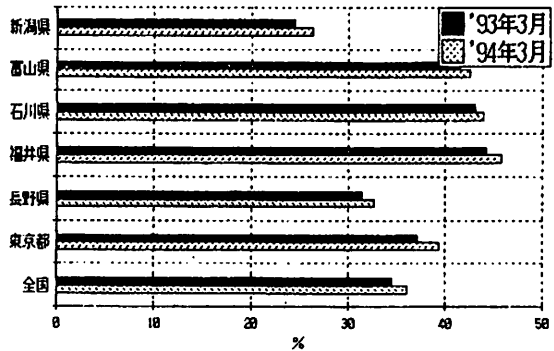
新潟県の高校卒業生の大学進学率は、表1のように近県よりかなり低い。

表1

大学等進学率 (含短大%)		
	'93年3月	'94年3月
新潟県	24.5	26.3
富山県	41.4	42.5
石川県	43.1	43.9
福井県	44.2	45.8
長野県	31.4	32.6
東京都	37.1	39.4
全国	34.5	36.1

(注) 私立も含む。「学校基本調査」による。現役のみ。

高校卒業生の大学等進学率 (現役のみ)



富山県なみにすると710人教員が増員できる

高校教員1人あたりが、生徒を何人受け持つことになるかという数字は、表2のようである。

新潟県(1994年度)の16.94は次のような根拠で算出された数字である。「学校要覧 1994年版」(県教委発行)によれば、

生徒数 100,959人

- 公立の全日制 81,713人
- 公立の定時制 2,012人
- 私立 17,234人

教員数 5,961人

- 公立の全日制 4,984人
- 公立の定時制 194人
- 私立 783人

表2

高校教員1人あたりの生徒数		
	1994年度	1985年度
新潟県	16.94	17.83
富山県	15.13	17.42
石川県	15.66	17.74
福井県	15.52	17.69
長野県	15.78	17.23
東京都	19.47	23.31
全国	17.24	19.41

資料「1995県政」(国政社)

したがって、生徒数÷教員数＝ $100,959 \div 5,961 = 16.94$

教員数は、校長、教頭、教諭、養護教諭、常勤講師の総数で、実習職員と事務職員は含めない数である。

このように16.94という数字は、私立高校も含めた数字である。

この数字を富山県のように15.13にするには、新潟県は何人増員しなければならないか算出してみよう。その場合の新潟県の教員数を Y とすると、

$$100,959 \div Y = 15.13$$

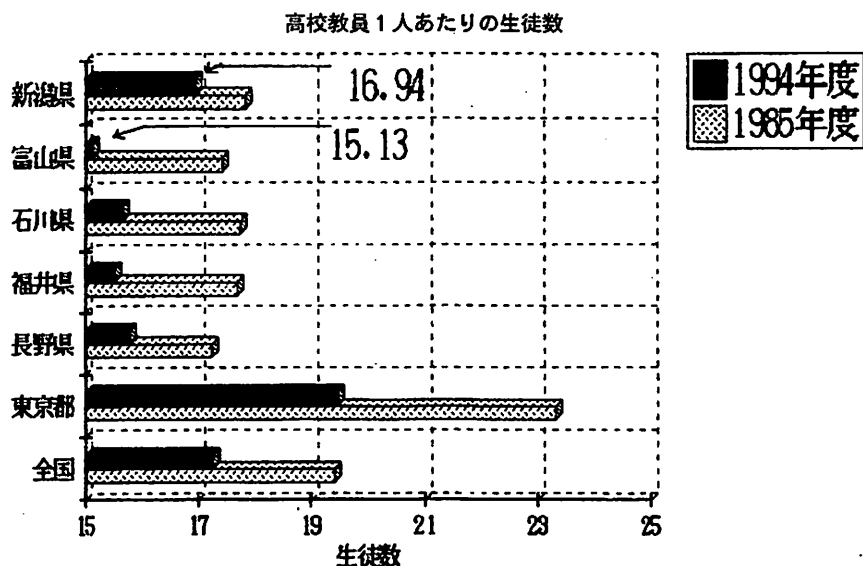
この式を解くと、

$$Y = 6,673$$

したがって増員しなければならない教員数は、

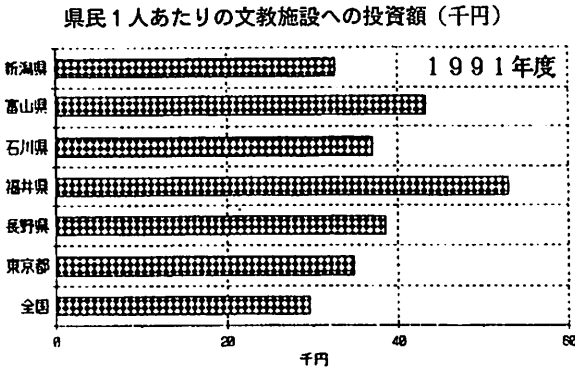
$$6,673 - 5,961 = 712$$

となり、712人増員しなければならない。これは、新潟県内に公立と私立合わせて、120の高校があるので、712を120で割って、1つの高校に約6人ずつ教諭を増員できる数である。



新潟県が石川県等の近県より、教員1人あたりの生徒数が多いということは、県当局が教育に金を出し惜んでいるということである。

表3



1991年度1人あたり 文教施設への投資額 (単位：千円)	
新潟県	33
富山県	43
石川県	37
福井県	53
長野県	38
東京都	35
全国	30

資料は表2と同じ

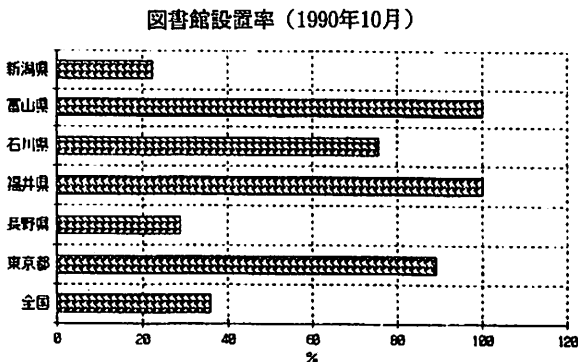
表3の「文教施設への投資額」というのは、学校、図書館、公民館、体育館、陸上競技場、美術館建築等への投資である。県だけでなく、市町村で出した金も含む。

また、表4のように図書館の設置率は、きわめて劣悪である。「図書館の設置率」というものは、

$$(\text{図書館が1つ以上ある市町村数} \div \text{県内の全市町村数}) \times 100$$

として計算した値である。富山県と福井県には、どんな小さい市町村にも図書館があるということである。

表4



1990年10月 図書館設置率 (%)	
新潟県	22.3
富山県	100
石川県	75.5
福井県	100
長野県	28.9
東京都	89.1
全国	35.8

資料「統計データハンドブック」（新潟県統計協会）

県民1人あたりの住宅への投資額(百円)

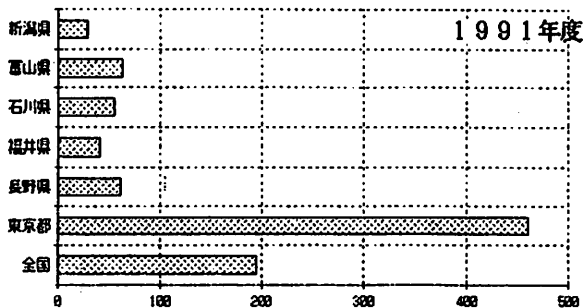


表5

1991年度1人あたり住宅への投資額 (単位:百円)	
新潟県	29
富山県	63
石川県	55
福井県	41
長野県	61
東京都	461
全国	195

資料は表2と同じ

表5は県民1人あたりの住宅への投資であるが、これは、公営住宅の建設などのことで、個人的に投資した額ではない。これも県だけでなく、市町村が出した金を含む。

県民1人あたりの年間所得(子も含む:万円)

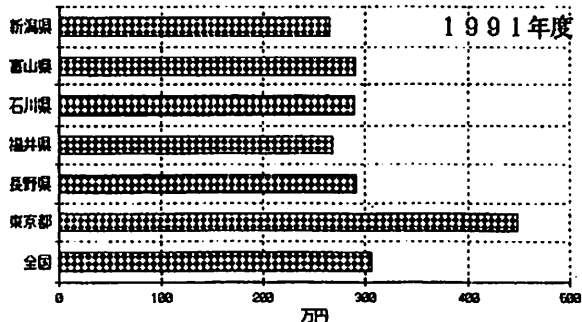


表6

1991年度県民所得 1人あたり(万円)	
新潟県	265
富山県	290
石川県	289
福井県	268
長野県	291
東京都	449
全国	306

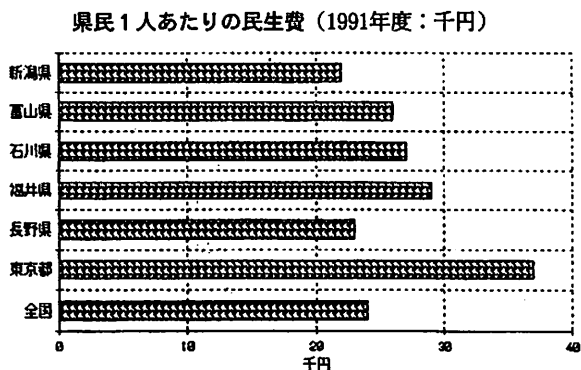
資料は表2と同じ

表6は、年間所得であるが、給料として貰う額ということではない。県内の人が1年間に新たに生み出した純生産物の値段(所得)である。子どもも含んでの額である。常識的に考えた額より多いのは、法人企業も含めた額であるからで、いかに法人(主に大企業であろうか)が儲けているかを示す資料でもある。新潟県は年間所得が265万円であるから、4人家族の場合は、これを4倍にして1,060

万円の所得があることになる。

それはさておいて、ともかく新潟県民は経済的に苦しいということであり、大学進学意欲もにぶりがちになるのではないか。

表7

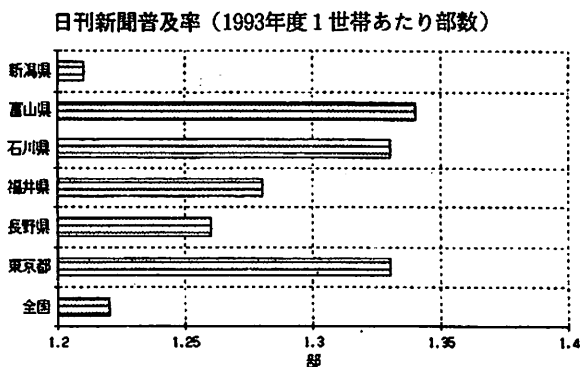


県民1人あたりの 民生費（千円） 1991年度	
新潟県	22
富山県	26
石川県	27
福井県	29
長野県	23
東京都	37
全国	24

資料は表2と同じ

表7は民生費であるが、「民生費」というのは、生活保護費、児童福祉費、老人福祉費の4つを含むが、そのうちでも最も多いのは、児童福祉費で約30%を占める。

表8



1世帯あたり日刊新聞 普及率（単位：部）	
新潟県	1.21
富山県	1.34
石川県	1.33
福井県	1.28
長野県	1.26
東京都	1.33
全国	1.22

資料は表2と同じ

表8は、日刊新聞の普及率であるが、新潟県はかなり低い。

道路舗装率（1993年3月）

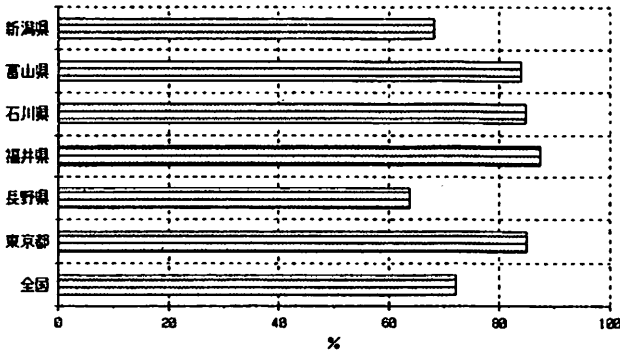


表9

1993年3月道路舗装率 (単位: %)	
新潟県	68.2
富山県	84.1
石川県	84.8
福井県	87.4
長野県	63.8
東京都	85.1
全国	72.1

資料は表2と同じ

表9の道路舗装率も新潟県は遅れている。土木費の割合が多い新潟県であるが、生活基盤であるはずの道路舗装率は、全国並より低い。

下水道普及率（1993年3月）

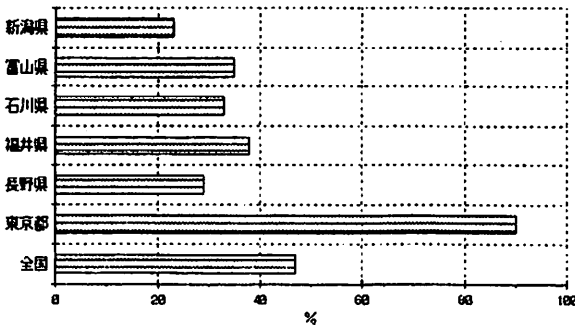


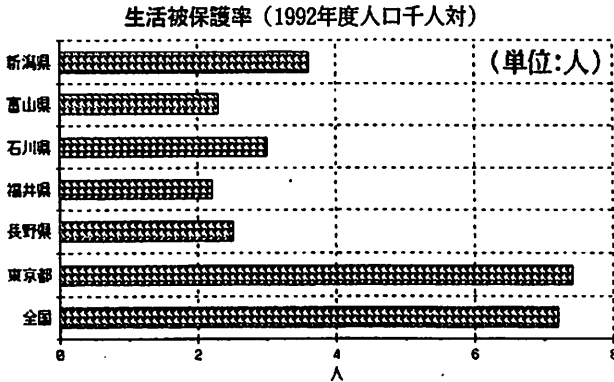
表10

下水道普及率 (1993年3月、単位: %)	
新潟県	23
富山県	35
石川県	33
福井県	38
長野県	29
東京都	90
全国	47

資料は表2と同じ

表10は下水道普及率であるが、新潟県は表10の中で最低である。

表11



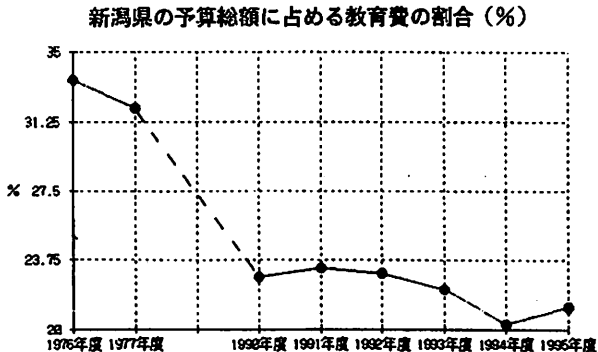
生活被保護率 人口千人対(単位:人)	
新潟県	3.6
富山県	2.3
石川県	3.0
福井県	2.2
長野県	2.5
東京都	7.4
全国	7.2

資料は表2と同じ

表11は、生活被保護率であるが、新潟県は近県よりかなり多い。

表12は、新潟県の教育費（県教育委員会所管）が、県予算総額に対して、何％であるかを示すもので、約20年前は、30%を超えていたのに、近頃は20%をわずかに超えるくらいでしかない。

表12



新潟県の予算総額に占める教育費の割合(%)	
1976年度	33.5
1977年度	32.0
1990年度	22.8
1991年度	23.3
1992年度	23.0
1993年度	22.1
1994年度	20.3
1995年度	21.2

資料は「教育施策の概要」
(県教委発行)

新潟県と富山県との高校教育環境の比較（1994年度）

1995年8月新潟公立高教組調べ

	新潟県	富山県
①県民数（'93年、単位：千人）	2,478	1,121
②全日制公立高校教	95	39
③定時制公立高校教	6	4
④全定併置公立高校教	12	7
⑤私立全日制高校教	15	9
⑥合計高校教	128	59
⑦公立高校の学級数	2,063	984
⑧私立高校の学級数	387	265
⑨全日制公立高校の生徒数	81,713	34,339
⑩定時制公立高校の生徒数	2,012	1,010
⑪公立高校の生徒数（⑨+⑩）	83,725	35,349
⑫私立全日制高校の生徒数	17,234	10,561
⑬生徒数合計	100,959	45,910
⑭全日制公立高校の教員数	4,984	2,357
⑮定時制公立高校の教員数	194	196
⑯公立高校の教員数（⑮+⑭）	5,178	2,553
⑰私立全日制高校の教員数	783	481
⑱教員数合計	5,961	3,034
教員1人あたりの生徒数（⑬÷⑱）	16.94	15.13
公立高校の教員1人あたり生徒数（⑪÷⑯）	16.17	13.85
私立高校の教員1人あたり生徒数（⑫÷⑰）	22.01	21.96
公立高校の1学級生徒数（⑪÷⑦）	40.58	35.92
私立高校の1学級生徒数（⑫÷⑧）	44.53	39.85
公立高校の1学級あたりの教員数（⑯÷⑦）	2.51	2.59

←これが表2の数である。

(注) (1) 「学校基本調査報告書・平成6年度」を資料とした。

(2) 教員数とは、この場合、校長、教頭、教諭、養護教諭、常勤講師の合計のこと。実習職員と事務職員は含まない。

いじめ 苦中1男子自殺

自宅庭、親あての遺書

上越

二十七日午前二時半ごろ、上越市大石二、自暴棄絶した若き入念心の息巻で、母親の同市春日中一年の娘(ひさし)君(13)が首をくくって死んでいるのを新聞記者が発見、上越市に届けられた。現場に親にあてた遺書があり、水をかけられたことと、死を覚悟したことが詳細に書かれていた。同級生は同級生らのいじめを苦に自殺したと述べている。いじめによる小・中学生の自殺が報告されたのは本誌で初めてのこと。



伊藤 雄吉

あわまに「なま」といじめのアンケート調査などを実施したが、雄吉に問題のある状況が「なま」に生じているのが目についた。死なせてくれたらいい」といっている。春日中 西倉信彦校長、五百九十号は、今月上旬から一年生を対象に教育相談

開くでは、雄吉は誰のパスケットボールの練習にひとまかけ首をくくった。同級生は学校側保育の事情を慮っている。雄吉はいじめた五人の氏名を挙げ「その日の時間はトイレで尿をあげられたり水をかけられたりしました」(五十坪内近く)と述べた。

雄吉に申し訳ない、西倉信彦校長の話、いじめの事実を認めていない(雄吉ながら)見せかけの謝罪があったと怒る。伊藤君に申し訳ない。生徒には命を奪った。防止運動束らす、西倉弘・市教育長、昨年十一月にいじめ対策会議を開き、防止運動を進めさせたに似て、いじめを児童へ目を持つ教員を養成した。

全校集会で生徒に説明する。正信さんは「カバロイ前、自宅に遊びに来たが、弟を泣かしたことで怒ったが、それ以来何もいじめがなかった。それが原因で、パスケットボール部にも所属し、

全校集会で生徒に説明する。正信さんは「カバロイ前、自宅に遊びに来たが、弟を泣かしたことで怒ったが、それ以来何もいじめがなかった。それが原因で、パスケットボール部にも所属し、

少年の自殺 今年10人に 伊藤君との 少年の自殺 今年10人に 伊藤君との 少年の自殺 今年10人に 伊藤君との

少年の自殺 今年10人に 伊藤君との 少年の自殺 今年10人に 伊藤君との

少年の自殺 今年10人に 伊藤君との 少年の自殺 今年10人に 伊藤君との

少年の自殺 今年10人に 伊藤君との 少年の自殺 今年10人に 伊藤君との

